



「子どもたちに平和な未来を 2022」 を開催しました！

8月27日に「子どもたちに平和な未来を2022」をオンラインで開催しました。「子どもたちに平和な未来を」は千葉県内の4つの地域生協（パルシステム千葉・コープみらい・生活クラブ・なのはな生協）による実行委員会が主催し、会員生協の子どもたちに平和の大切さと核兵器の廃絶を訴える取り組みをおこなっています。

今年は「平和を願うバトンをつなごう！ ～あの日の出来事から未来へ～」と題して被爆者の方から被爆体験を聴き、交流会で平和について考えました。



プログラム	
10:00	開会・実行委員長挨拶
10:05	プロローグ ～桃夏お姉さんのこと～
11:15	講演会 ～中村さんと小谷さんが あの日に体験したこと、 今伝えたいことを聞いて みよう～
11:15	交流会 ～桃夏お姉さんと平和に ついて話してみよう～
12:00	閉会

被爆体験の講師にはそれぞれ広島で2歳の時に被ばくされた中村紘さんと、6歳の時に被ばくされた小谷孝子さん、また講演の際の進行と子どもたちとの交流会の進行には広島在住の並川桃夏さんをお迎えしました。

プロローグでは、進行役の桃夏お姉さんが広島から参加していること、今日の広島の天気、また8月6日は広島市内の小中学校は登校日で記念式典を見ながら黙とうをすることなど、千葉に住んでいる私たちと異なる8月を過ごしてい

ることを教えてくれました。自身についての説明では広島に住んでいても平和には興味がなく、中学まで原爆資料館にも行ったことがなかったこと、それが平和活動に取り組むようになったきっかけや今力を入れている被爆証言を後世に残す活動についてなどを話してくれました。

講演会でははじめに中村さん（ヒロシくん）が、ご自身の体験を踏まえて「平和と平等と命」というお話をされました。参加者は正解のない問いかけには、自分だったらどうするかと真剣に考えたり、原爆の威力を身近なものに例えた説明ではその威力を想像したりしました。お話の最後には「SDGsも被爆者も目指す



ヒロシくん、
小谷さんと相棒のあっちゃん



参加者のみんな

ゴールは平和と平等だけれども、被爆者には残された時間があとわずかなので、未来のある君たちにバトンを渡します！」と、子どもたちに戦争のない平和な社会への夢を託しました。

次に小谷さんが腹話術を使い、あいぼうのあっちゃんと一緒に被爆体されました。とても穏やかで優しい語り口の小谷さん

ですがお話されるご自身の体験は、とても辛く悲しいものでした。小谷さんは、「自分だけが幸せになるのではなく、世界の人々が平和に暮らせるように考えていってほしい」と言われました。

交流会では、桃夏お姉さんと感想や思ったこと、自分が考える平和について、自分が平和な世界のためにできることについて意見を出しあいました。

①感想 ・熱線や爆風想像以上。戦争は嫌だ・語り次いで行きたいと思った・ヒロシくんの命の重さはみんな同じという言葉が印象に残った。・ロシアが悪いと思っていたから知ることができて良かった・相手の良いところを見つけていきたい・自分の次の世代にも伝えたい」など。

②平和な世界は？ ・戦争をしないという気持ちを一人ひとりがもつ・いやな相手でも、満月のところを思っあげる・みんなが仲良くする・いのちを大切にする・相手の良いところを認める・違う意見も認め合う など

最後にヒロシくんから「もっとたくさんの人に伝えていきたい！ どうしたら伝えられるか一緒に考えていきたい！」小谷さんから「まずは家族を大切にし、お友達を大切にし、そして世界中にお友達をたくさん作ってください。お友達の国を攻めたい思わずに助けたいと思えるから、優しい気持ちがひろがると思います。今日は皆さんがしっかり受け止めてくださって本当に幸せです！」そして桃夏お姉さんからは「ぜひ今日の話をお話の方々に伝えてください。そして、興味を持ってくれたらうれしいです！」とメッセージをもらいました。



桃夏お姉さん

アンケートより抜粋

- ・絵や腹話術を使ってゆっくり話してくれたからよかった。
- ・平和について戦争のこわさについて知ることができた
- ・高校生や大学生の子どもたちも何気のにぞき込んで見聞きしていました。休日に家で視聴できる企画の、大きなメリットです。
- ・7年に何回かは戦争のこと、平和のことを考えなくては、忘れていてはならないと思います。
- ・中村さん、小谷さん、被爆者の皆さまの平和な未来を願う想い、私もしっかり受けとめました。この平和をつなぐバトンを一人でも多くの人と受け継ぐような取組みを考えていきたいです。
- ・今後も体に気を付けてご活躍ください。核兵器禁止条約批准へ、日本政府への働きかけを強めたいですね。
- ・中村さん、小谷さんともに、子どもたちにどう投げかけたら受け止めてもらえるのか？お話しされる言葉一つひとつ考え抜いていらっしゃる感じました。子どもたちに平和な未来をつなげたい強い想いを感じました。



ワークシート